

申請書類チェックリスト

氏名 _____

<事前相談時の持ち物>

- 申請書類一式（※公証が必要な書類は公証を受けないこと）
- 筆記用語
- 本紙

<申請時の持ち物>

- 申請書類一式（※公証が必要な書類は公証を受けていること）
- 筆記用語

<申請書類の確認>

- 1 申請書類については、下記の表に従って準備してください。
様式の指定があるものについては、ホームページからダウンロードして記入してください。
Excelで掲載しているものはExcelで作成しても問題ありませんが、様式の変更はしないでください。
- 2 申請書類の作成については、「留意事項」を確認し、記入例を参考にしてください。
- 3 申請書類の確認については、「留意事項」の各項目をチェック（☑）し、すべて満たしていれば「確認」欄にチェック（☑）をして、申請時に不備がないようにしてください。

確認	番号	申請書類	留意事項
<input type="checkbox"/>	1	准看護師試験受験資格認定願	<input type="checkbox"/> すべての項目が不足なく記入されているか <input type="checkbox"/> 【生年月日】外国籍の場合は「西暦」で記入されているか <input type="checkbox"/> 【免許発行機関】外国で取得した看護師免許証に記載の情報と一致しているか <input type="checkbox"/> 【免許取得年月日】外国で取得した看護師免許証に記載の情報と一致しているか <input type="checkbox"/> 【基礎学歴】看護師学校養成所に入学する前の学歴が不足なく記入されているか <input type="checkbox"/> 【看護師学校養成所】学校名が他の提出書類と一致しているか <input type="checkbox"/> 【各分野時間・単位数】様式4と一致しているか <input type="checkbox"/> 【准看護師試験受験資格認定の申請理由】申請するに至った経緯、理由、試験を受験したい理由などが不足なく記入されているか <input type="checkbox"/> 【申請日】事前相談ではなく、申請をおこなった日が記入されているか <input type="checkbox"/> 【申請者署名】直筆で記入されているか
<input type="checkbox"/>	2	准看護師試験受験資格認定概要	<input type="checkbox"/> 【申請者氏名】他の書類に記載している内容と一致しているか <input type="checkbox"/> 【看護師学校養成所名（現在）】在校当時から学校名が変更している場合は、現在の学校名が記入されているか <input type="checkbox"/> 【外国看護師学校養成所の修業年限】様式1と一致しているか <input type="checkbox"/> 【教育課程の履修時間】様式1及び様式4と一致しているか <input type="checkbox"/> 【教育環境】様式5と一致しているか <input type="checkbox"/> 【当該国の判断】他の提出書類と一致しているか <input type="checkbox"/> 【看護師免許の取得・看護師免許取得の資格】他の提出書類と一致しているか <input type="checkbox"/> 【国家試験制度】根拠法令と一致しているか <input type="checkbox"/> 【日本語能力】他の提出書類と一致しているか

確認	番号	申請書類	留意事項
□	3	本人確認書類 ①～④のいずれか1点	
		①住民票	<input type="checkbox"/> 国籍の記載があり、「個人番号」が省略されているか <input type="checkbox"/> 申請前6か月以内に発行されたものであるか
		②在留カード	※「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律(平成21年法律第79号)」の経過措置により在留カードとみなされる登録証明書を含む。
		③戸籍抄本又は戸籍謄本	<input type="checkbox"/> 申請前6か月以内に発行されたものであるか
		④旅券	<input type="checkbox"/> 申請書類提出時、出願時、受験時のみ日本へ入国する者であるか <input type="checkbox"/> 外国籍を所持しているか
□	4	医師の診断書	<input type="checkbox"/> 日本の医師資格を有する者により、申請前1か月以内に発行されたものであるか <input type="checkbox"/> 外国籍の者は、氏名はアルファベット、生年月日が西暦で記載されているか
□	5	履修科目及び時間数の対照表	<input type="checkbox"/> 【単位数・時間数】番号12, 13に記載されている内容と一致しているか <input type="checkbox"/> 【申請者の履修科目】番号12, 13の日本語訳と一致しているか <input type="checkbox"/> 【1単位あたりの時間数】講義と臨地実習の1単位あたりの時間数が記入されているか <input type="checkbox"/> クォーター制の場合は、セメスター制に換算されているか ※日本の教育内容に準じた履修科目を記載する。1行に1科目の履修科目を記載し、必要に応じて行を追加挿入する。 ※履修科目は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野別に記載する。 ※講義（学内での講義、実習及び演習）と、病院や施設など学外での実習（臨地実習）を区別する。 ※単位制であっても、必ず時間数に換算すること。（換算方法は当該校に確認し、当該校の施設長の署名のある書面を準備すること。） ※所定様式が複数枚にわたっても構わない。 ※免許取得要件である教育内容が対象となるため、免許取得後の教育の記載は不要である。
□	6	施設現況書（在学当時）	<input type="checkbox"/> 【証明日・学校長署名】施設長の自筆署名又は記名押印があるか（学校印は不可） <input type="checkbox"/> 【学校名】卒業証書等に記載されている表記と一致しているか <input type="checkbox"/> 【在学時点】在学当時の年月日（入学から卒業までの期間内の日付）が記載されているか <input type="checkbox"/> 【実習施設】履修した実習の科目名が病院毎にすべて記入されているか ※教員組織は、看護学部のみを教授、准教授、講師の人数と常勤、非常勤の別での人数を記載する。
□	7	日本語能力検定に係る書類 ①②のいずれか1点	※平成21年12月までの認定区分である日本語能力試験1級も可とする。 ※日本の中学校及び高等学校を卒業している者は提出の必要はない。
		①日本語能力検定N1認定書・成績書 ②日本語能力試験N1認定結果及び成績に関する証明書	
□	8	看護師国家試験受験資格認定の認定不可内容 ※該当者のみ提出	※看護師国家試験受験資格認定の申請を行った者で、「認定不可」となった者は、その理由を記載する。
□	9	写真2枚（縦6cm×横4cm）	<input type="checkbox"/> 申請前6か月以内に撮影されたものであるか <input type="checkbox"/> 脱帽正面で撮影されているか <input type="checkbox"/> 裏面に「撮影年月日」「氏名」が記入されているか

確認	番号	申請書類	留意事項
<input type="checkbox"/>	10	外国で取得した看護師免許証	<input type="checkbox"/> 外国では日本の看護師免許証に相当する書類が複数ある場合があるため、必要書類はすべて準備する <input type="checkbox"/> 日本における看護師に相当する資格であり、准看護師に相当する□ではない。 <input type="checkbox"/> 看護師免許取得見込ではなく、看護師免許を取得していること <input type="checkbox"/> 外国で取得した看護師免許の有効期限が切れている場合は、更新して有効期限内のものを用意する
<input type="checkbox"/>	11	看護師養成所の卒業に係る証明書類 ①②のいずれか1点 ①外国で卒業した看護師養成所の卒業証書 ②外国で卒業した看護師養成所の卒業証明書	※卒業時と異なる学校養成所名で発行された卒業証明書の場合は、校名変更を証明する書類(パンフレット又は当該校の施設長による証明書等)を準備する。
<input type="checkbox"/>	12	卒業した外国看護師学校養成所の成績証明書	<input type="checkbox"/> この書類は申請時の必須書類ではないが、必要時に提出を求める場合があるので準備しておくこと。 <input type="checkbox"/> 講義(学内での講義、実習及び演習)と、病院や施設など学外での実習(臨地実習)を区別し、修了状況が確認できる内容であること。 <input type="checkbox"/> 他校から移行単位がある場合、単位を取得した学校の書類(項目7、9)を併せて準備する。 <input type="checkbox"/> 卒業時と異なる学校養成所名で発行された成績証明書の場合は、校名変更を証明する書類(パンフレット又は当該校の施設長による証明書等)を準備する。 <input type="checkbox"/> 当該校のサイトからダウンロードした場合はURLを明記する。(当該校の施設長の証明のあるものを準備する。)
<input type="checkbox"/>	13	外国で卒業した看護師学校養成所のシラバス	<input type="checkbox"/> 申請者が履修した分野・科目の教育内容、時間数及び単位数が明らかな書類であること。(学業成績証明書やシラバス等) <input type="checkbox"/> 履修分野・科目名、教育内容、単位数及び時間数が、項目8、10に記載されている内容と一致しているものであること。 <input type="checkbox"/> 教育内容は全体の概要ではなく、履修した科目ごとに明示されていること。 <input type="checkbox"/> 在学当時(西暦何年)に履修した教育内容であることが示されていること。 <input type="checkbox"/> 教育内容の書類は、当該校の施設長の証明のあるものに限る。(施設長の署名が記入されていること。学校印は不可とする。) <input type="checkbox"/> 教育科目、時間数は、講義(学内での講義、実習及び演習)と、病院や施設など学外での実習(臨地実習)の別がわかるように記載されていること。 <input type="checkbox"/> 講義だけでなく、臨地実習についても修了状況が確認できる内容であること。 <input type="checkbox"/> 単位制であっても必ず時間数に換算する。(換算方法は、当該校に確認し、当該校の施設長の署名のある書面を準備すること。) <input type="checkbox"/> クォーター制の場合は、セメスター制に換算し直す。 <input type="checkbox"/> 当該校のウェブサイトからダウンロードした場合はURLを明記する。(当該校の施設長の証明のあるものを準備する。)
<input type="checkbox"/>	14	卒業した外国看護師学校養成所が当該国または州政府等によって正式に認可されたことを証明する資料	<input type="checkbox"/> 卒業した外国看護師学校養成所が当該国又は州政府などによって正式に認可されたことが示されている書類を準備する。(パンフレット又は証明書) <input type="checkbox"/> 在学当時に認可されていた状況が確認できること。 <input type="checkbox"/> パンフレット・証明書は、当該校の施設長の証明のあるものに限る。(施設長の署名が記入されていること。学校印は不可。) <input type="checkbox"/> 当該校のウェブサイトからダウンロードした場合はURLを明記する。(当該校の施設長の証明のあるものを準備する。)

確認	番号	申請書類	留意事項
<input type="checkbox"/>	15	根拠法令	<input type="checkbox"/> 看護師免許取得に関する以下の内容の条文を揃える。 <input type="checkbox"/> 法律の目的 <input type="checkbox"/> 資格の定義 <input type="checkbox"/> 免許 <input type="checkbox"/> 欠格事由 <input type="checkbox"/> 籍の登録 <input type="checkbox"/> 免許の交付及び免許証の付与（更新） <input type="checkbox"/> 免許登録の要件 <input type="checkbox"/> 免許取り消し又は業務停止処分の手続き <input type="checkbox"/> 国家試験の受験資格 <input type="checkbox"/> 看護師の業務 <input type="checkbox"/> 養成所の規定・基準 <input type="checkbox"/> 養成所の入学資格 <input type="checkbox"/> 免許取得時と現行の根拠法令の関係条文を準備する。 <input type="checkbox"/> 抜粋の場合は、箇所が分かるように明記する。 <input type="checkbox"/> 文献から引用した場合は出典を明記する。 <input type="checkbox"/> 関係機関ウェブサイトからダウンロードした場合はURLを明記する。

<申請書類作成上の注意>

1. 申請書類の部数は1部である。
2. 印刷はA4サイズで行い、横幅等がページ内に収まらない場合には印刷範囲を調整すること。
3. 添付書類のうち外国語で記載されているものは、すべて日本語訳を添付すること。翻訳中の固有名詞も含めて全て日本語（ひらがな、カタカナ、常用漢字）で記載すること。
4. 項目10～15については、公的な機関(当該国の大使館、領事館、外務省あるいは法務局管内公証役場等)において、申請書類と日本語訳の両方の記載が真実である旨の確認を受け、その証明を併せて提出すること。
5. 項目3、7、10～12については、それぞれ原本を持参すること。（証明書以外の原本は照会後に返還する）
6. 項目6は、外国語に訳した書面で施設長の証明を受ける場合も、所定の様式を日本語訳として併せて提出すること。また、公的な機関(当該国の大使館、領事館、外務省あるいは法務局管内公的役場等)において、申請書類と日本語訳の両方の記載が真実である旨の確認を受け、その証明を提出すること。